

Close Up! CGU

図書館1階閲覧室が「コミュニケーションラウンジ」と「ラーニングルーム」としてリニューアルし、待望のオープンを迎えました。



図書館1階 リニューアルオープン!

コミュニケーションラウンジ

図書館リニューアルの背景



図書館の新たな一つの使命として

「静かな環境と情報提供から多様な学習環境の提供へ」

従

来の大学教育において、特に図書館は静かな環境と情報提供することが大きな役割であったといえます。しかし、大学の教育改革に則した多様な学習環境を提供するという、いわゆるラーニングコミュニティが新たな図書館の役割であり使命の一つになっていることから、今回、本学の卒業生により組織される「学生会」の支援を受け、図書館1階閲覧室のリニューアルが実施されました。

会話や飲食も可能な「コミュニケーションラウンジ」

今回、図書館1階の閲覧室は、もともと学生がリラックスした雰囲気や議論を交わし、自主的な学習に利用することを目的として、「コミュニケーションラウンジ」と「ラーニングルーム」という2つの学習空間として生まれ変わりました。

「コミュニケーションラウンジ」は、可動式の机や椅子で自由にレイアウトができる協働学習スペースとして設置されました。ラウンジには1人掛けのソファやハイ・スツールも配置され、個人学習や憩いの場としても対応しています。また、従来の図書館では厳禁だった会話や飲食が可能となり、部屋の外には飲み物や菓子パン、スナック等の自動販売機も設置されています。

「ラーニングルーム」で「学習」から「学修」へ

一方、「ラーニングルーム」はこれまでの「ティーチング」から「ラーニング」へ「学習」から「学修」への移行を重視し、多様な学習スタイルに対応しています。アクティブラーニング(能動的学習)を目的とした学修を支援する場として、室内にはプレゼンテーション用の機器も導入され、ディスカッションやグループ討論、ゼミ発表の場として活用できます。

新しい2つの学習空間について、図書館運営を管轄している情報システム部の大塚次長は、従来の静かな学習環境に加え、議論等をしながグループで学修ができる環境が整いました。今回のリニューアルが学生のコミュニケーション能力向上につながると思います。そして学生同士がお互いのスキルを磨き合う場にしてほしいです。」と話していました。

快適な利用のためには「マナー」が必要

今回初めて図書館内での飲食が可能となりましたが、現在、食べ物が認められているのは「コミュニケーションラウンジ」のみで、「ラーニングルーム」や他のフロアやエリアでは認められていません。

「本や床への食べこぼしやそれを原因とする虫の害の問題等もあって、本来は図書館で飲食というのは難しい。自治体の図書館は飲み物でさえ禁止です。ただ、やはり学生に有意義な図書館利用をしてもらうために、今回「コミュニケーションラウンジ」を飲食可能としましたので、快適な利用のために学生はマナー

をきちんと守ってもらいたいですね。」

さらに充実した図書館の活用を

情報環境にも配慮した2つのエリアは無線LANと電源が確保されており、各自ノートパソコン等を持参すれば、ネットワーク利用も可能です。夜8時まで開いていますので、授業後の予習・復習やゼミや仲間たちとの打合せや勉強会、プレゼンテーションのリハーサル等にも利用できます。

学内の他の学習スペースとしては、図書館4階グループ学習室があり、静かな環境のもと4~5人で1部屋を使用しているグループ学習に向いています。また、6号館7階「スタディールーム」はパソコン利用による個人学習に適しています。

「今回のリニューアルにより、学習環境に幅ができたことで、他の施設と併せて学生には大いに活用してもらいたい。」と更なる図書館の学生利用に期待が寄せられています。



ラーニングルーム